



菊まちネット
 (第13号)
 発行 菊水地区まちづくり
 ネットワーク会議
 会長 真鍋 義雄
 菊水まちづくりセンター内
 (菊水7条2丁目2-20)
 電話811-9445 FAX811-3831
<http://www.kikusui-net.jp/>

第38回白石区「ふるさと祭り」開催



第38回「白石区ふるさと祭り」が7月6日・7日の両日、白石区役所駐車場・白石区民センターにおいて開催されました。今年度は好天に恵まれ、過去最高の39000人の方々がご来場されました。この祭りは白石区の夏の風物詩として、市民が気軽に参加出来る催物として、白石区「ふるさと会」が主催、白石区子ども会育成連合会や白石区民センター運営委員会、白石区町内連合会、白石区、等が共催で開催しています。会場には、30以上の屋台が立ち、おでん、焼き鳥、冷たいビールやジュース、焼きそば、おにぎり、等々出展され会場は大賑わい。

6日の前夜祭には、バンド演奏やひよっこ踊り、菊水源流太鼓、子ども盆踊り、仮装盆踊り等で観客は大盛り上がり、7日の本祭は、白石区の郷土芸能「札幌本陣太鼓」を皮切りに、開会式が行われ、主催者挨拶に続き、多くのご来賓の祝辞が述べられました。開会式終了後は白石区連合女性部の揃いの浴衣による「白石音頭」で練り歩き、続いて、恒例になった、宮城県白石市から駆けつけた「片倉鉄砲隊」と甲冑武者がステージに登場し、ふるさと祭りを応援して頂きました。



甲冑武者姿の「片倉鉄砲隊」



「菊水源流太鼓」堂々の初参加



平成25年「菊水地区まちづくりネットワーク会議」定期総会開催



5月24日(金)午後2時より、平成25年度「菊水地区まちづくりネットワーク会議」定期総会が菊水地区会館において開催されました。平成24年度の事業及び決算関係の報告に続き、平成25年度の事業計画(案)について活発なご審議を頂き、全会一致で承認をいただきました。定期総会終了後は、各事業部ごとに、事業部長を

中心に、担当事業の具体的実施方法等につき、確認が行われました。特に、平成24年度より、各事業部の新規事業として取り組んだ5つの事業については、更に継続して進めることとし、実施後の振り返り等を(反省会、アンケート)確実にを行い、地域の文化として、定着させて行きます。

菊水地区まちづくりネットワーク会議活動紹介

太字は新規事業

《総務・企画部》

- 1、地域情報誌「菊まちネット」の発行。
- 2、菊水地区ホームページの活用。
- 3、「パソコン教室」継続実施。
- 4、**菊水地区「親睦パークゴルフ大会」の開催。**



《安全・安心部》

- 1、青色回転灯パトロールの継続実施。
- 2、地域が一体となった安全安心の取り組みの一層の推進。
- 3、**「防災訓練」の実施。**
- 4、**「安全安心まちづくり活動」**
総決起大会の開催。

《福祉部》

- 1、「お年寄りと子どもの交流会」開催。
- 2、菊水地区「雪中運動会」の開催。
- 3、「子育てサロン」の継続実施。
- 4、**菊水地区「ボウリング大会」の開催。**



《環境・文化部》

- 1、地域の環境美化活動の支援。
- 2、「花で飾ろう運動」の支援。
- 3、**菊水地区「ふれあい音楽祭」の開催。**

青色回転灯パトロール出陣式

5月15日(月)午後2時～札幌コンベンションセンターにおいて、白石警察署、白石区、白石区各連合町内会(自主防犯パトロール隊)、札幌白石防犯協会、少年補導委員、各職域団体が集合、青色回転灯パトロール出陣式が行われました。主催者挨拶の後、代表者から白石警察署長に「防犯宣誓」を行い、解散後は、それぞれの地区のパトロールに出発いたしました。



菊水の「小学校運動会」開催

5月に入り各小学校は一斉に運動会が始まりました。菊水地区でも5月25日(土)市立東橋小学校、6月1日(土)市立幌東小学校、市立上白石小学校の両校において開催されました。当日は、晴天に恵まれ、絶好の運動会日和、開始の10時には既に父兄席はシートでいっぱい。すっかりお兄さん、お姉さんになった6年生より、校長先生に「優勝旗の返還」そして「選手宣誓」を立派に果して居ました。

ところで、この運動会は何時ごろから始まったのかご存知ですか。北海道における小学校運動会の起源は、明治19年に開催された、「松前郡松城小学校運動会」が全国的にも初期とされているようです。その後は、各地の小学校がこの運動会を取り入れて行くことになったそうです。(北海道における小学校運動会の起源) 鈴木 敏夫 著



健康づくり実践会「歩こう会」開催

菊水町内会連絡協議会(女性部)では「健康づくり実践会」として「歩こう会」を開催。今一番心配されている生活習慣病などの疾病予防や地域の方との親睦のため「みんなで楽しく歩きましょう」と呼び掛けました。6月4日(火)午前10時30分 豊平川「水穂大橋」から「南大橋」までの河川敷(往復4km)で「歩こう会」が実施されました。当日は菊水町内会連絡協議会会長や菊水まちづくりセンター所長も激励のため参加、挨拶を頂きました。又、数年前より、菊水地区まちづくりネットワーク会議(環境文化部)の共催により、環境美化活動の一環として、「紙くず」や「空き缶」等のごみ拾いを兼ねたウォーキング会と成りました。終了後は支給された“おにぎりとお茶”を皆で頂きました。



初夏の白石区「交通安全決起大会」と街頭啓発運動

6月5日(水)白石区南郷丘公園にて、白石区交通安全推進委員会(会長・谷江白石区長)により、「交通安全決起大会」が開催され、続いて、南郷通り沿いで初夏の「交通安全大型街頭啓発運動」が実施されました。交通事故の多発が予想される夏の行楽シーズンに先駆け、交通安全推進委員会と白石警察署が連携し、町内会など交通安全関係団体が約600人が参加しました。大会では、大会長の挨拶、白石警察署長の挨拶に続き、白石区老人クラブ連合会会長より「交通安全宣言」が行われました。大会終了後は、参加者全員により南郷通り沿いと環状通り沿いに並び「スピード落そう」「運転中の携帯電話はダメダメ」と書かれた旗を掲げ、安全運転“の呼び掛けを行いました。



菊水地区「社会を明るくする運動」街頭啓発運動

7月19日(金)菊水地区「社会を明るくする運動」街頭啓発活動が実施されました。当日は「菊水地区青少年育成委員会」「校区内のPTA」「保護司会菊水分区」「少年補導員」の皆さんによって、それぞれ“マックスバリュ-菊水店”“スーパーアークス菊水店”前にてパンフレット、テッシュ等を配り「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力」を地域住民に訴えました。当日は、菊水まちづくりセンター所長、白石警察署刑事・生活安全課の方が、激励のため駆けつけ、「更正保護」のパンフレット等の配布に参加されました。



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成19年4月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくなって行く」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



町内会の集まりで、女性役員より、こんな話がありました。 買い物帰り、二人の男の子とすれ違いましたが、一人の子が裸足で、靴は手に持って“痛い痛い”言いながら歩いていました。『どうして靴を履かないの?』と尋ねると『これ僕の靴じゃないし、この靴壊れています』と。『ええ、じゃそれ誰の靴』と聞くと、自転車に乗っている男の子を指差しました。『それじゃ自転車に乗っている子が履いているのは誰の靴』と聞くと。裸足の子は、うつむきながら『僕の靴』と答えました。私は、すぐに状況を察し、自転車の子に言いました。『あなたねー、こんな道を裸足で歩いていたら、どんなに痛いか判らない?しかもあなたは自転車で、おまけに、この子の靴まで奪って、自転車から降りて直ぐに靴を返して上げなさい!』すると、その子は『うっせーな!関係ねーだろー』と履き捨てるように言って逃げるように去ってしまいました……。如何なる場合でも、いじめは許されない事を、大人は毅然とした態度で教える事が大切です。子供の悩みや、危険信号を親身になって敏感に感知することも重要です。家庭においても然り、この問題の解決については、極めて重要な役割を担う、ことに成ります。親の深い愛情や精神的な支え、親子の会話、ふれあいも重要であります。又、学校教育においても、かけがえのない生命や生きる喜び、素晴らしさを教えることの重要性は言うまでもありません。 今回の、この具体的な話しは、学校・家庭・地域が一体となって、それぞれの立場からその責務を果たす必要があることを、痛感させられた事例でした。 編集部